

2022年3月9日

抗議文

ロシア大統領 ウラジミールプーチン 殿

尼崎医療生活協同組合
理事長 大澤芳清

ロシア軍によるウクライナ侵略に断固抗議します

2022年2月24日、ロシア軍はウクライナ領土に突然侵攻し、首都キエフを含む複数の都市にミサイルや砲弾による攻撃を行い、集合住宅や学校施設を無差別に破壊し、多くの死傷者を出しています。

今回のロシア軍による侵略行為は、いかなる理由を持ってしても到底許されるものではなく、最大限の言葉をもって断固糾弾するものです。

尼崎医療生活協同組合は、ロシア軍が一切の軍事行動を中止し、即時ウクライナから撤退することを強く求めます。

報道によると、ウクライナ全土で多くの妊婦の方々が地下シェルターでの不衛生な中での出産を余儀なくされていると聞きます。私たちは、いのちを守り、健康で平和な暮らしを求めて事業と運動を進める医療生活協同組合として、到底容認することは出来ません。

また、プーチン大統領は、核兵器を使用することを公言し、ヨーロッパ最大級の原子力発電所へのミサイル攻撃を行うなど、無法の限りを尽くしています。ロシア軍とプーチン大統領の姿勢は断じて許されるものではありません。

尼崎医療生活協同組合は、ロシア軍によるウクライナ侵略と核兵器による威嚇、原発へのミサイル攻撃、ウクライナ市民への無差別攻撃に対して断固抗議するとともに、ロシア軍のウクライナからの即時無条件撤退を強く求めます。

以上